

# ドイツ語3

科目ナンバー 0A232  
総合基礎 選択 1単位

金成 祐人

## 1. 授業の概要(ねらい)

ドイツはEU経済の中心であり、美しい町並みや自然景観、音楽や文学、哲学などの魅力溢れる国です。この講義では、初級レベルの文法事項を復習しながら、ドイツ語の読みやすい文章を読解します。反転授業形式とし、訳読担当者の訳を参加者で検討しながら、構文や文法事項を確認していきます。辞書があれば標準的なドイツ語を自力で読めることを目指します。

なお、この授業は、総合基礎科目の学修目標1、2、3に関連します。

## 2. 授業の到達目標

- ・学生は、ある程度の長さのドイツ語の文章を読み解くことができる。(技能)
- ・学生は、ドイツ語で挨拶や自己紹介など簡単なコミュニケーションが取れる。(技能)
- ・学生は、ドイツ語で簡単な文を書ける。(技能)
- ・学生は、日常的なドイツ語会話を聴き取り理解することができる。(技能)
- ・学生は、初級レベルの文法知識を習得する。(知識・理解)

## 3. 成績評価の方法および基準

訳読担当: 60%、小テスト: 40%

訳読担当について、講義内でフィードバックを行いません。また、小テストについて、LMS 上でフィードバックを行いません。

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

斎藤太郎/Siegfried Kohlhammer 『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 朝日出版社、2018年  
ISBN: 978-4255254036

### 参考文献

在間進編 『アクセス独和辞典』第4版 三修社、2021年  
ISBN: 978-4384060003

(他の辞書でも可)

在間進編 『アクセス和独辞典』 三修社、2012年  
ISBN: 978-4384043211

(他の辞書でも可)

常木実 『標準ドイツ語』(新訂版) 郁文堂、1970年  
ISBN: 978-4261070972

## 5. 準備学修の内容

- ・準備学修として、次回の講義範囲について文法事項や単語の意味を調べてノートにまとめてください。(60分)
- ・事後学修として、文法事項や単語を確認し、訳読で間違ったものをノートにまとめてください。また、テキストの音声を活用し、発音・聴き取りの練習をしてください。(30分)

## 6. その他履修上の注意事項

「ドイツ語1」・「ドイツ語2」を事前に履修しておくことが望ましいです。また、引き続き後期の「ドイツ語4」を受講することが望ましいです。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション、Lektion 0: 自己紹介(挨拶、動詞の現在人称変化、語順、人称代名詞の格変化)
- 【第2回】 Lektion 1: 地理と気候①(冠詞(類)の格変化)
- 【第3回】 Lektion 1: 地理と気候②(基数と序数)
- 【第4回】 Lektion 2: 食生活①(前置詞の格支配)
- 【第5回】 Lektion 2: 食生活②(前置詞を含む熟語)
- 【第6回】 Lektion 3: ドイツ語という言語①(名詞の複数形)
- 【第7回】 Lektion 3: ドイツ語という言語②(複数形に関する注意)
- 【第8回】 Lektion 4: ドイツの大学①(話法の助動詞)
- 【第9回】 Lektion 4: ドイツの大学②(不定代名詞man)
- 【第10回】 Lektion 5: 祝日と休暇①(形容詞の格変化)
- 【第11回】 Lektion 5: 祝日と休暇②(形容詞の名詞化)
- 【第12回】 Lektion 6: ドイツの治安事情①(比較表現)
- 【第13回】 Lektion 6: ドイツの治安事情②(「最も…なものひとつ」)
- 【第14回】 Lektion 7: 教育制度①(分離動詞と非分離動詞)
- 【第15回】 Lektion 7: 教育制度②(再帰代名詞と再帰動詞)